



「ブラウド南麻布」



時と共に深まるデザイン

住むほどに深まる愛着、使い込むほどに馴染む風合い。

外観はもちろん、樹々の一本一本、建物の細部に至るまで吟味し、

時を重ねるほどに深みを増す住まいを創造します。



“独りよがり”のデザインはNGだと

常に自分に言い聞かせています

迷ったときの判断基準は

「お客さまは、どう思われるか?」です

野村不動産 住宅事業本部
事業推進部 推進二課

林 慎也

事業推進部 担当者が語る、デザインへのこだわり

「時と共に深まるデザイン」を、形にする

デザインや設計など、プラウドの「思想」を「形」にする工程を中心で担っているのが、住宅事業本部 事業推進部の担当者です。マンションづくりの現場を熟知した2人に「プラウドならではの」クオリティについて聞きました。

「プラウドは、どうあるべきか」
常に原点に立って考える

プラウドを“創る”仕事とは――？

「プラウドとはこのような住まいであってほしいという想いを、自分の手で形にしていける作業です」(林)



野村不動産 名古屋支店
住宅事業部 推進課

小田 晋太郎

2020年2月取材

毎年数多くのプロジェクトが計画され販売されるプラウド。複数の物件が同時進行する中で、住まいのデザインや設計を担当する事業推進部では担当者が手分けして、それぞれの物件に就きます。一人ひとりの経験値や力量は様々。そこで、プラウドの商品企画をする上で配慮すべきポイントをまとめた『プラウド・コンパス』と題する住まいづくりの指針を作り、社内でも共有しています。数多くの住まいづくりを経て蓄積された知恵やアイ

ディアが、この一冊に収められています。

『プラウド・コンパス』は、“この通りにつくれば、プラウドが完成します”といった類のマニュアルではありません。ここに書かれている内容は、あくまでも土台。そこからさらに、各担当者は知恵を絞ります。

いかに「プラウドを選んで良かった。」と実感していただける住まいをつくることができるかが、腕の見せどころです」(小田)

住まいづくりの中で生まれた数多くのアイデアをまとめた「プラウドコンパス」



パース図から始まる 妥協なきデザインワーク

いかに「邸宅」と呼ばれるにふさわしいものを創り上げるか——作り手のこだわりは、計画段階から始まっています。その一例が、出来上がりのイメージを共有するための「パース」作成です。

「パースと言えば、以前は正面など見栄えのするアングルだけ作図するのが一般的でした。しかし最近では、全方向のパースを作ってデザインを考える物件も出て来ています。一般的には裏側と呼ばれるような、共用廊下部分などもです。実際にお客さまがお住まいになられてからは、そうした部分も目にされるわけですから、誰がどこから見ても、納得できるようにデザインをしようということです」(小田)

長く住まわれるお客さまに対して、たとえ細部であっても、詰めの甘い部分を残してお渡ししたくない。時間をかけて暮らすほど、“じっくりくる”住まいだと感じていただきたい。——「時と共に深まるデザイン」を実現するために、対象をあらゆる角度から検討します。外観だけでなく、敷地内の樹々の一本一本に至るまで幾度も吟味され、“これだ”という答えが導かれるのです。

こうした“ものづくり”のDNAは、プラウドの名の下に脈々と受け継がれています。



1 “引き”(奥行き)と構えを創り住まいへのアプローチを演出 2 シンボルツリーとして活かした既存の大樹 3 敷地に配置されたオブジェ

「見せる技術」と「隠す技術」を駆使し、上質な空間を演出

長く住まれるほど、味わいが増し愛着の深まる住まいとは？ その問いに対する答えが、各物件の造作一つひとつに込められています。

たとえば、エントランス。住まれる方が日々行き交う動線上というだけでなく、マンション全体の印象を決定付ける重要な場所だと言えます。ここで検討さ

れる事の一つが「アイ・ストップ」(目が留まる場所)という考え方。それはたとえば植栽であったり、アートであったり、あるいは照明であったりと、各物件のコンセプトに応じて異なります。

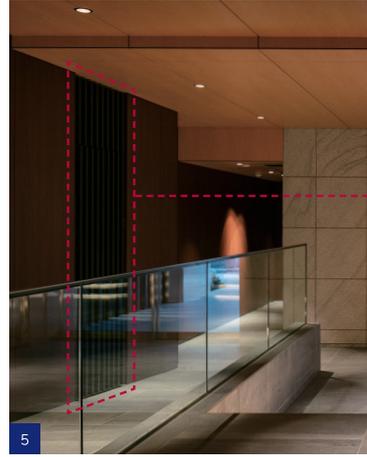
「屋外から館内へ、本来なら一直線に進めるところを、あえて動線を遮る位置に壁をしつらえてアイ・ストップを設けることがあります。この場合、出入りするには迂回しなければなりません。しかし、合理性だけが住まいの豊かさだらう

かと考えると、歩く楽しさを提供するためにあえて動線をまげたり、空間に遊びを設ける、という手法が浮かび上がるのです」(小田)

効果的に「見せる」一方で、いかに「隠す」かも、デザイン上の工夫のしどころ。「たとえば煙の感知器や雨樋など、建物の機能としては必要ですが、積極的に見せたいものではありません」(林) 他にも照明器具の設置位置や、壁に取り付けられた掲示板の出っ張りなど、ポイントは



4 吹き抜けからの外光を取り込んだエントランス空間のアイストップ演出



5



6

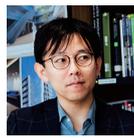
6 格子の扉を用いて空調機を隠すなど、何気ない箇所にも目立ちすぎない工夫を



野村不動産 名古屋支店
住宅事業部 推進課

小田 晋太郎

おだ・しんたろう／営業部門、オーダーメイド
マンション事業部などを経て現職。



野村不動産 住宅事業本部
事業推進三部 推進二課

林 慎也

はやし・しんや／住宅建築部、オーダーメイドマン
ション事業部、カスタマーサービス部を経て現職。

※2020年取材

無数。その一つひとつを、そこに住まわれる方の目線で検証します。

プラウドのデザインの原点は「お客さまの視点」

かつて営業の現場を経験した小田と、カスタマーサービス部でアフターサービスを担当した林。両者が口を揃えるのが、「住まわれる方の視点に立ったデザイン」です。

「お客さまがご覧になる視点と、私たちの視点は、必ずしも一致しません。迷ったときは立ち止まり、『お客さまは、どのように思われるだろうか?』と考えるようにしています」(小田)

「私は、実際にプラウドにお住まいの方々と接することが多いカスタマーサービス部を経験したことで、お客さまの視点をより具体的にイメージできるようになりました。『使い勝手や完成後の維持管理にまで配慮されてこそ、良いデザイン』と呼べるのだと思います。ご購入いただいたお客さまとの対話を通じて、見栄えの良さばかりを追求した“独りよが

りなデザイン”であってはならないこと、ものづくりは“お客さま第一主義”であるべきだということを学びました」(林)

時代や環境が変わると共に、ライフスタイルも大きく変化しています。

“そのプラウドに住まわれる方は、どのような方なのか?そこには、どのようなデザインが必要なのか?”。私たちはこれからも、お客さまと向き合いながら試行錯誤を続けてまいります。

デザインの実績

「グッドデザイン賞」21年連続受賞[※]。

その背景には受け継がれる“ものづくりのDNA”がある

製品や建築物を初め、ソフトウェア、システム、サービスなど、「かたちのある無しにかかわらず、人が何らかの理想や目的を果たすために築いたものごとをデザイン」とらえ、その質を評価・表彰するのが、グッドデザイン賞です。野村不動産グループでは2002年の受賞から、21年連続でグッドデザインを受賞。個々の物件として受賞している他、管理やコミュニティづくりの仕組みといったソフト面の取り組みでも、多数のプロジェクトで同賞を受賞しています。



「プラウド高田馬場」(2022年受賞・分譲済)

●グッドデザイン賞とは

1957年に通商産業省主催「グッドデザイン商品選定制度」として創設されて以来、60年余の歴史を誇る「グッドデザイン賞」。受賞対象には優れたデザインの証として「Gマーク」が付与されます。

※…2023年2月現在



外観

エントランスホール(GATE TOWER)

パーティールーム『空の間(そらのま)』



1 大型商業施設併設、地上25階建のタワーレジデンス。2 亀戸が江戸切子の生産地であり、江東区が木場として栄えた歴史からデザインモチーフに組格子や切子を採用。3 パーティールーム『空の間(そらのま)』は栗の木や漆喰などで品格を演出した和の空間。

「住」「商」「広場」「学」を網羅 “地域と連携”する複合型大規模レジデンス

JR総武線「亀戸」駅から徒歩2分という立地。
切子や組格子といった和の伝統文化をモチーフとして
歴史と情緒のある土地に新たなランドマークを描きました。

クラウドタワー亀戸クロス

- 所在地／東京都江東区
- 総戸数／934戸
- 構造・鉄筋コンクリート造 地上25階
地下2階建
- 建物竣工時期／2022年1月(分譲済)



外観



2
外観



3
エントランスホール



4
ビューラウンジ

1 2 シンボリックな多面的フォルムに下部から頂部へ連なるマリオン。現代的なスリットデザインを施し伸びやかさを強調。 3 北船場の文化を継承する気品と凛々しさが漂うデザインを追求。 4 大阪城方面を眺めながら贅沢な時間を味わえる落ち着いた空間。

地の格式と造形美を纏い、 時代を牽引する「輝」へ

北浜に継承される格式ある近代建築の様式と先進の建築技術を融合。
隣接する高麗橋野村ビルディングの独創的な外観と呼应しながら
新たな住まいのシンボルとして、界隈の趣を象徴します。

ブラウドタワー北浜

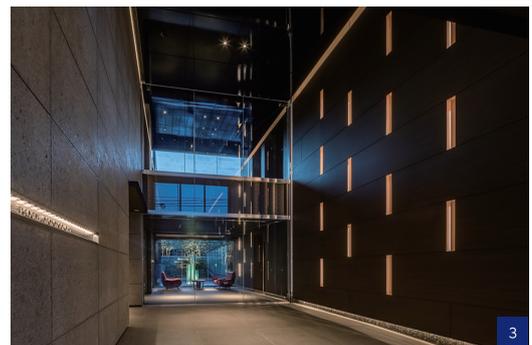
- 所在地 / 大阪府大阪市中央区
- 総戸数 / 281戸
- 構造・規模 / 鉄筋コンクリート（一部鉄骨造）
地上42階 地下1階建て
- 建物竣工時期 / 2019年12月（分譲済）



外観



エントランス



エントランスホール

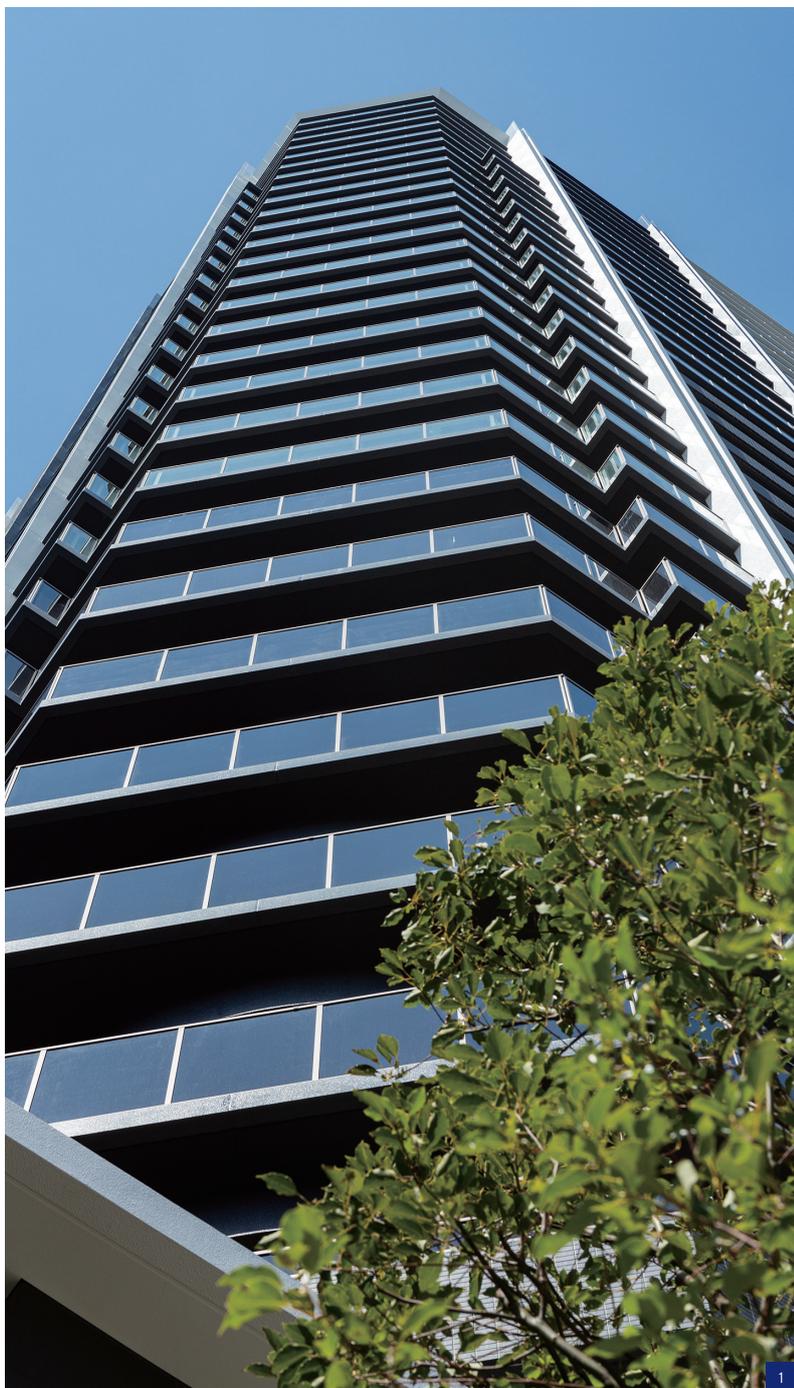
1 エントランスのある東側はガラスとタイルの壁面をリズムカルに配し、美しいファサードを実現。2 タイル部分の開口部の上下には横ラインを通した黒い金物を設置し、陰影を強調。3 ラウンジから中庭へ、視線が奥まで一気に通る印象的な大空間。

ガラスとタイルがつくるリズムカルで美しいファサード 開放感と風格を備えた「PRIVATE HILL」

眺めのよさと奥ゆかしさを併せ持つ高台の邸宅街に
街とのつながりとプラバシーを守る印象的なデザイン。
街のランドマークにふさわしい低層レジデンス。

ブラウド元代々木町

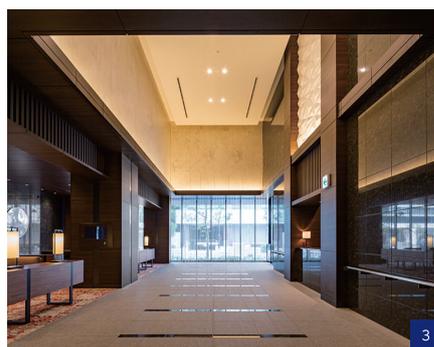
- 所在地／東京都渋谷区
- 総戸数／19戸
- 構造・規模／鉄筋コンクリート
地上3階地下1階建
- 建物竣工時期／2021年9月(分譲済)



外観



エントランス



エントランスホール

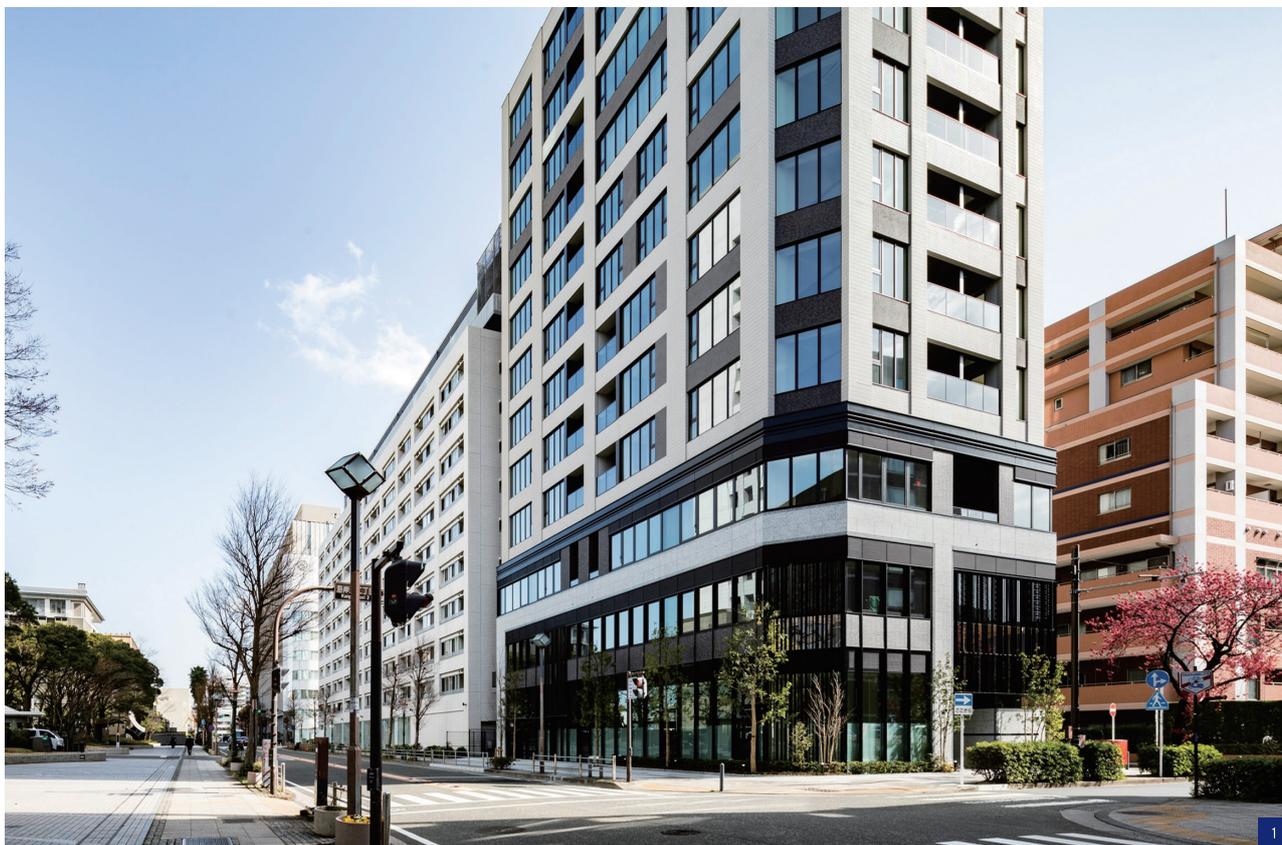
1 リズミカルに配したマリオンが未来への躍進を表現、コーナーウィンドウによりシャープさを強調。2 堂々としたワイドなキャノピー、迎賓の趣を表わすガラスウォール。3 2層吹抜けの空間に、デザインウォールによる光と影のコントラストが印象的。

人々が集い、豊かな賑わいと触れあいの風景を描く 名古屋都心の象徴となる商・住・公一体型複合開発

新たな価値と文化を生み出す革新の気風に満ちた街づくり。
地域に開放された広場や商業施設・生活支援施設など居住機能だけでなく
多層的な機能が複合する都市空間として新たな賑わいを形成。

プラウドタワー名古屋錦

- 所在地／愛知県名古屋市中区
- 総戸数／360戸（非分譲住戸20戸含む）
- 構造・規模／鉄筋コンクリート造地上30階
地下1階建
- 建物竣工時期／2022年1月下旬（分譲済）



外観



エントランス



ラウンジ

- 1 基壇部は石や金物を用いて重厚感を演出。4～12階はガラス面を引き立て、上階に行くほど存在感を消し空に溶け込むようデザイン。
- 2 ドアの両サイドに施した波のような模様をはじめ海をモチーフにした意匠。
- 3 南西側コーナー部に設けた明るく開放的なスペース。

情緒の薫る街並みに呼応し、新たな建築美を発信 上質な品格を纏い、印象的な表情を演出

馬車道駅から徒歩4分の海岸通り沿いの落ち着いたロケーション。
重厚な基壇部と空を映し出す中・上層部を対比させ、
発展していく新しい港町・横浜の姿を体現する景観を創出しています。

プライド馬車道

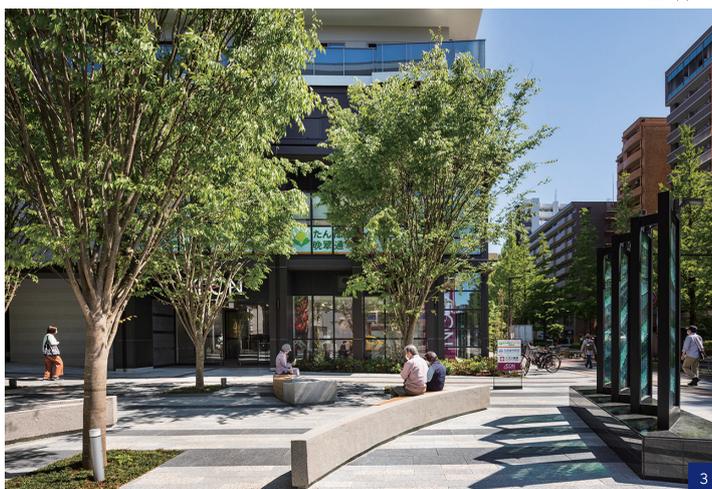
- 所在地／神奈川県横浜市中区
- 総戸数／44戸
- 構造・規模／鉄筋コンクリート地上12階・地下1階建
- 建物竣工時期／2022年2月(分譲済)



外観



エントランスホール



エントランス

- 1 晩翠通に面しランドマーク性を重視したシンボリックなデザイン。
- 2 大きな窓と上部の縦格子を通して差し込む自然光に包まれる2層吹抜けの大空間。
- 3 新たに設けられた公開空地「ケヤキガーデン」には植栽に加えベンチを配置することで地域の繋がりとなる。

人生100年時代を豊かに美しく生きる新しい価値を提案 「住宅」・「商業」・「医療」一体のタワーレジデンス

行政機関と医療機関が集積するエリアの中心に都市機能を集約。
緑のオープンスペース「ケヤキガーデン」が晩翠通りと東側の道路を結び、
人の流れを作り出すとともに憩いの場となるなど地域貢献も果たします。

プライウドタワー仙台晩翠通
セントラル

- 所在地／宮城県仙台市青葉区
- 総戸数／258戸
- 構造・規模／鉄筋コンクリート
地下1階地上24階
- 竣工時期／2022年1月(分譲済)